

ロシア軍と戦うウクライナ人の気迫と祖国愛

3/14(月) 7:12 配信

自民党の森英介元法相は毎日新聞政治プレミアに寄稿した。2011年から日本・ウクライナ友好推進議員連盟会長を務める森氏は、「戦力比がいかに大きくても、ウクライナの人たちの気迫と祖国愛がロシア軍をおしとどめている」と語った。

森氏は「当初、すぐにでも陥落するとみられていたキエフががんばっているのは、士気の違いだ。ロシアの兵士には自分たちの大義などなにも感じられないだろう。一方、ウクライナは独立を守るために必死になっている」と言う。

ゼレンスキー大統領については、「彼が踏みとどまっていなければ、キエフはアフガニスタンの首都カブールのように、すぐ陥落していただろう」とたたえた。